

チャートシステム  
～操作マニュアル～

## 目次

1. ご利用の準備 .....	2
(1)動作環境.....	2
(2)JAVA ソフトウェアのインストール .....	2
2. チャートシステムの起動 .....	4
3. 画面・メニュー構成と機能紹介 .....	6
(1)画面構成.....	6
(2)メニュー構成 .....	7
(3)ユーザインターフェイス機能紹介.....	8
4. チャート構成 .....	9
(1)チャート種別.....	9
(2)足種別とタイムフィード.....	10
(3)インジケータ(テクニカルチャート) .....	10
5. チャート操作 .....	11
(1)ウインドウレイアウト .....	11
(2)チャートの基本的な操作 ～ ツールバー ～.....	12
(3)チャートの基本的な操作 ～ メニューバー/右クリックメニュー ～.....	13
(3)インジケータの表示・変更 .....	16
6. カスタマイズ設定.....	19
(1)カスタマイズ設定の保存・読込 .....	19
(2)表示本数の変更・価格帯指定 .....	20

## 1. ご利用の準備

### (1) 動作環境

チャートシステムのご利用には以下の条件を満たしたパソコンが必要です。

なお、下記のハードウェア構成に加え、インターネットに接続できる環境が必要です。

ハードウェア	CPU	Pentium 1GHz 以上
	メモリー	256MB 以上
	OS	Windows 2000 SP4 以降、Windows XP SP2 以降
	通信回線	ISDN(64k) 以上 ADSL、光ファイバー等のブロードバンド回線を推奨
	モニター	画面解像度 1024×768 ドット以上
ソフトウェア	ブラウザ	インターネットエクスプローラー5.5SP2 以上
	Java	JAVA 実行環境(Java plug-in: 1.4.2 以降) ※MicrosoftJVM(v1.1)では動作しません。 Java のインストールは下記(2)をご参照ください。

### (2) Java ソフトウェアのインストール

チャートシステムでは、サン・マイクロシステムズ(株)の Java ソフトウェアが必要となります。

以下の手順に従って、Java ソフトウェアのインストールを行ってください。

- ①サン・マイクロシステムズ(株)の Java ソフトウェアダウンロードページに移動します。  
インターネットエクスプローラーのアドレス欄に以下のURLを入力してください。

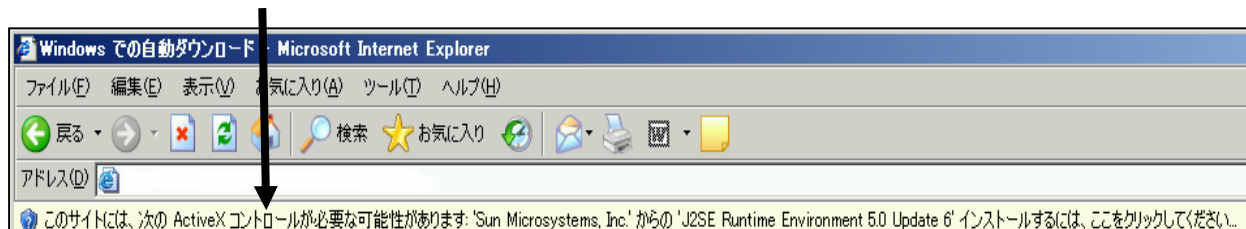
<http://www.java.com/ja/>

- ②Java ソフトウェアダウンロードページが表示されますので、[ **Download NOW!** ]をクリックしてください。

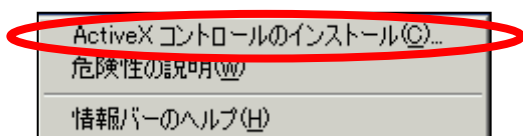
- ③デスクトップ用 Java ソフトウェアのダウンロード画面が表示されますので、[ **ダウンロードの開始** ]ボタンをクリックしてください。

[ **ダウンロードの開始** ]ボタンをクリックした後、「設定を確認中～」といったメッセージが表示されます。

画面が切り替わらない場合は、インターネットエクスプローラーのポップアップブロックが有効になっています。アドレスバーの下に以下のようなメッセージが表示されていないか、ご確認ください。表示されている場合は、メッセージをクリックしてください。



[ActiveX コントロールのインストール]という項目が表示されていますので、クリックしてください。



問題が無ければ、しばらくして、インストールの完了画面が表示されます。インストール完了画面が表示されましたら、インターネットエクスプローラーを閉じてください。

以上で Java ソフトウェアのインストール作業は終了です。

## 2. チャートシステムの起動

【チャートシステム起動手順】

- ① チャートシステムは取引システムの中から起動します。お取引画面のメニューから[マーケット情報]をクリックしてください。マーケット情報メニューが表示されます。

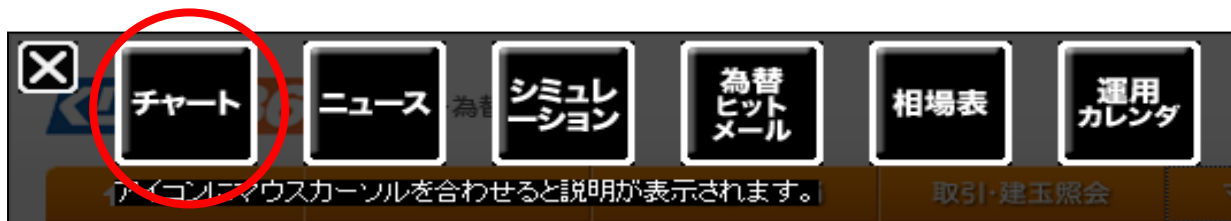
くりっく365の場合



為替 24 の場合



- ② 表示されたマーケット情報メニューから[チャート]をクリックしてください。



- ③ 自動的に[Java starting...]というウィンドウが表示された後、



チャートシステムが起動します。

\*チャートシステムが起動するまで、ご利用のパソコンによっては時間がかかる場合があります。

### 3. 画面・メニュー構成と機能紹介

#### (1) 画面構成



①メインメニュー	チャートシステムの各種設定、操作を行う場合には、ここから選択します。
②ツールバー	チャート種別、足種別、カスタマイズ設定、通貨ペア種別、BID/ASK はここから選択します。
③データパネル	現在選択されている通貨のレート情報や、テクニカル数値が表示されます。
④チャート描画エリア	各種チャートを表示します。表示したチャートのテクニカルデータ数値もここに表示されます。

(2)メニュー構成

チャートシステムにおけるメニュー構成は下記の通りになります。

ファイル(F)	チャート(C)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(H)
CSVとして保存(C) 画像として保存(S) 印刷(P) 終了(X)	表示スペース + (通貨ペア1) + (通貨ペア2) + (通貨ペア3) + (通貨ペア4) チャート種別(T) + ローソク + ライン + バー 足種別 + Tick + 1分 + 5分 + 30分 + 時間 + 日足 + 週足 + 月足 モード + ヒストリカル + リアルタイム 表示足本数 + 50本 + 100本 + 150本 + 200本 ツールチップ表示 十字カーソル カーソル情報表示 カスタマイズ設定(P)	レイアウト(L) + 1枚 + 2枚(左右に並べて表示) + 2枚(上下に並べて表示) + 4枚 最新の状態に更新(R)	ユーザーガイド(U)
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">&lt;右クリックメニュー&gt;</p> <p>画像として保存 印刷 チャート種別 + ローソク + ライン + バー 足種別 + Tick + 1分 + 5分 + 30分 + 時間 + 日足 + 週足 + 月足 モード + ヒストリカル + リアルタイム 表示足本数 + 50本 + 100本 + 150本 + 200本 フィボナッチ 価格帯設定(上限、下限) ツールチップ表示 十字カーソル カーソル情報表示 カスタマイズ設定(P) トレンドライン描画 トレンドラインのクリア 全トレンドラインのクリア CSVとして保存 4本値データ表示</p> </div>

(3) ユーザーインターフェイス機能紹介

チャートシステムではマウスやキーボードからの操作に応じて、ダイナミックな表現をすることができます。主なユーザーインターフェイスに対する機能をご紹介します。

機能	機能詳細
カーソル連動データ数値表示	チャートグラフ上で、マウスカーソルを合わせると、カーソルの位置に対応したレート情報やテクニカル数値をデータパネルに表示します。
ツールチップ表示	マウスカーソルをチャートグラフに合わせると、4本値の数値をカーソル位置にポップアップ表示します。 詳しくは(P14)を参照してください。
トレンドライン描画	マウスを使用して、チャート上へトレンドラインの直線を描画できます。 *ただしリアルタイムモードでは利用できません。 詳しくは(P18)を参照してください。
色設定変更	チャートのラインや背景色等、自由にカスタマイズできます。 カスタマイズ設定は名前を付けて保存することができます。 詳しくは(P16)を参照してください。
表示本数の変更	画面上に表示する足の本数をユーザが自由に設定できます。 詳しくは(P20)を参照してください。
過去データの遡(さかのぼ)り	横スクロールで過去のデータに遡ってチャート表示します。
直近の足のハイライト	リアルタイムモードでは自動的にデータ更新を行い、新しく配信されたデータがあると、色を変えてデータをハイライト表示します。

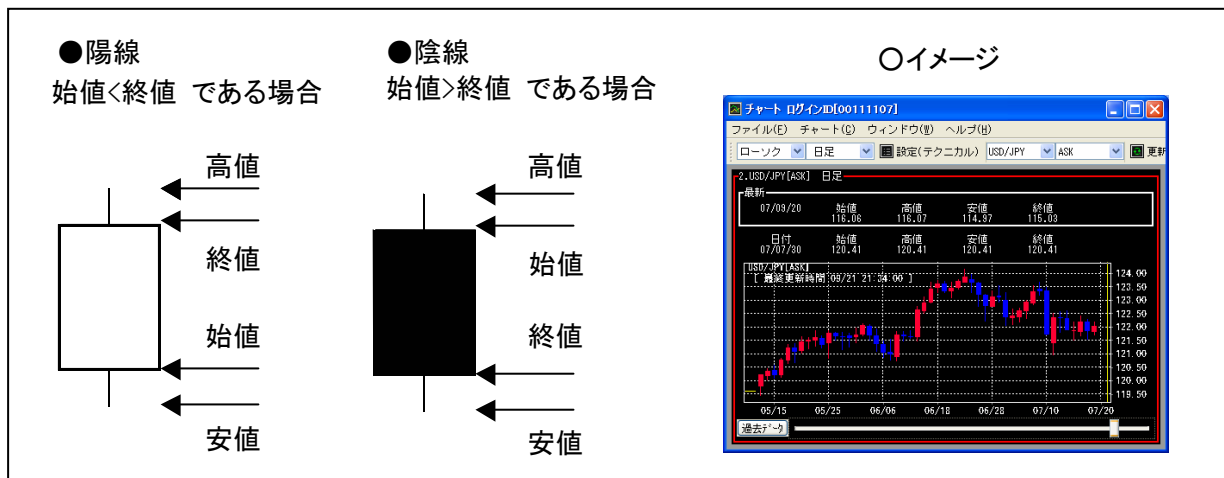
## 4. チャート構成

### (1)チャート種別

チャート種別としては以下の3種類があります。詳しい操作方法は P12 を参照してください。

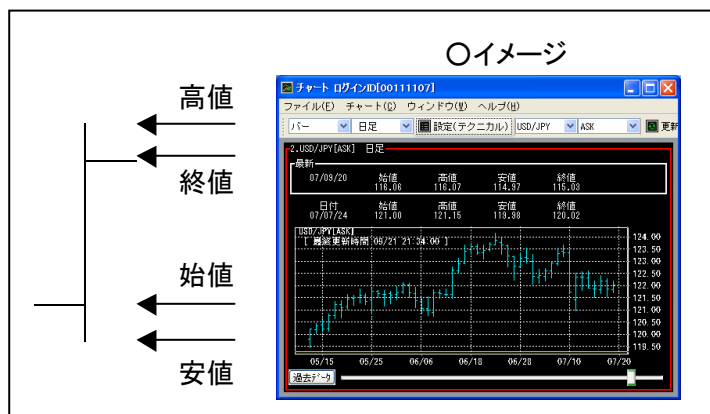
#### ①ローソクチャート(\*Tick では使用できません)

- ・高値、安値の間を、縦の直線で結びます。
- ・始値、終値の間を、四角形で塗り潰します。塗り潰す色は始値と終値の関係により変わります。



#### ②バーチャート(\*Tick では使用できません)

- ・高値、安値の間を、縦の直線で結びます。
- ・始値を縦直線の左に、終値を縦直線の右へ伸ばします。



#### ③ラインチャート

- ・各基準日時の終値を直線で結びます。



(2) 足種別とタイムフィード

足種別は下記の種類から選択します。チャート種類によっては選択できない足種別がありますので、ご注意ください。詳しい操作方法は P12 を参照してください。

チャート種別	利用可能な足種別
ローソクチャート	1分、5分、30分、60分、日足、週足、月足
バーチャート	1分、5分、30分、60分、日足、週足、月足
ラインチャート	Tick、1分、5分、30分、60分、日足、週足、月足

タイムフィードにはリアルタイムモードとヒストリカルモードの2種類があります。

- ①リアルタイムモード………… レートを自動的に取得しチャートに反映します。レート of 最大表示本数は200本です。最新レートをハイライト表示することもできます。  
\*トレンドラインを描画することはできません。
- ②ヒストリカルモード………… 過去のレートを最大1200本までさかのぼって表示することが可能です。また、自由にトレンドラインをチャート上に描画することが可能です。  
\*最新レートの自動取得はありません。

(3) インジケータ(テクニカルチャート)

チャート画面にはインジケータを描画することができます。インジケータの種類は次の通りです。詳しい操作方法は P16 を参照してください。

< インジケータ1 > ・移動平均線 ・ボリンジャー周期 ・一目均衡表 ・パラボリック SAR ・フィボナッチ
--

< インジケータ2 > ・ストキャスティクス ・サイコロジカルライン ・MACD ・RSI ・RCI ・DMI
---

- ・<インジケータ1>のグループは、一度に全てのインジケータを表示することができます。
- ・<インジケータ2>のグループは、最大3つまで同時に表示することができます。

## 5. チャート操作

### (1) ウィンドウレイアウト

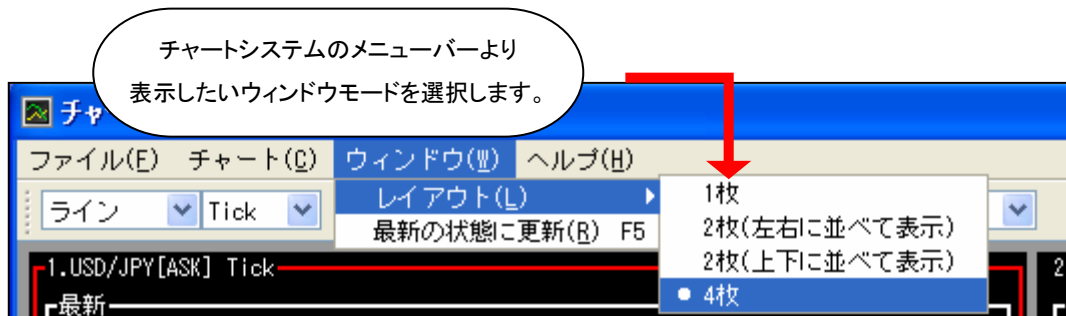
#### ① ウィンドウモード

チャートシステムではチャートエリアを4つのモードから選択できます。

- ・1枚 …………… 画面いっぱいに1枚のチャートを表示します
- ・2枚(左右に並べて表示) ……… 左右に2枚のチャートを表示します。
- ・2枚(上下に並べて表示) ……… 上下に2枚のチャートを表示します。
- ・4枚 …………… 画面を4等分し、4枚のチャートを表示します。

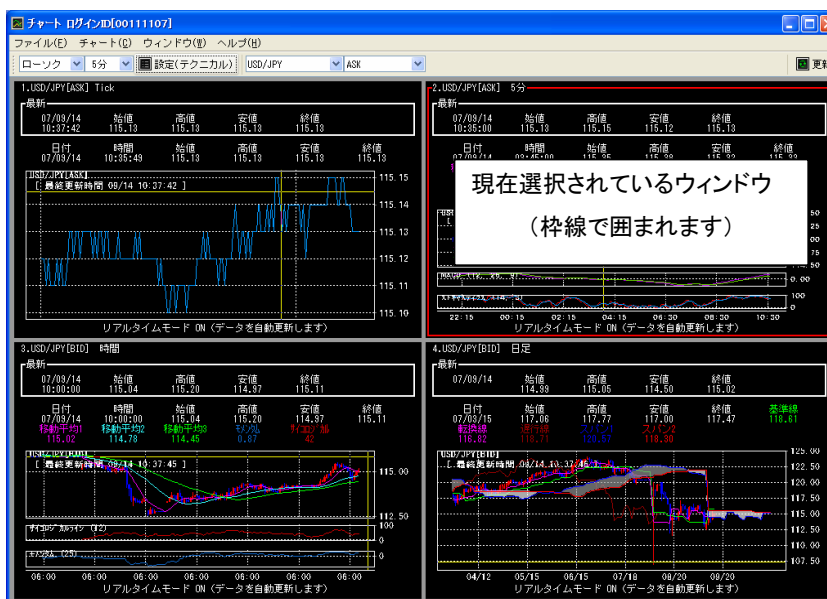
#### ② ウィンドウモードの切り替え

ウィンドウモードを切り替えるには、メニューバーより表示したいウィンドウモードを選択します。



#### ③ 現在選択されているウィンドウ

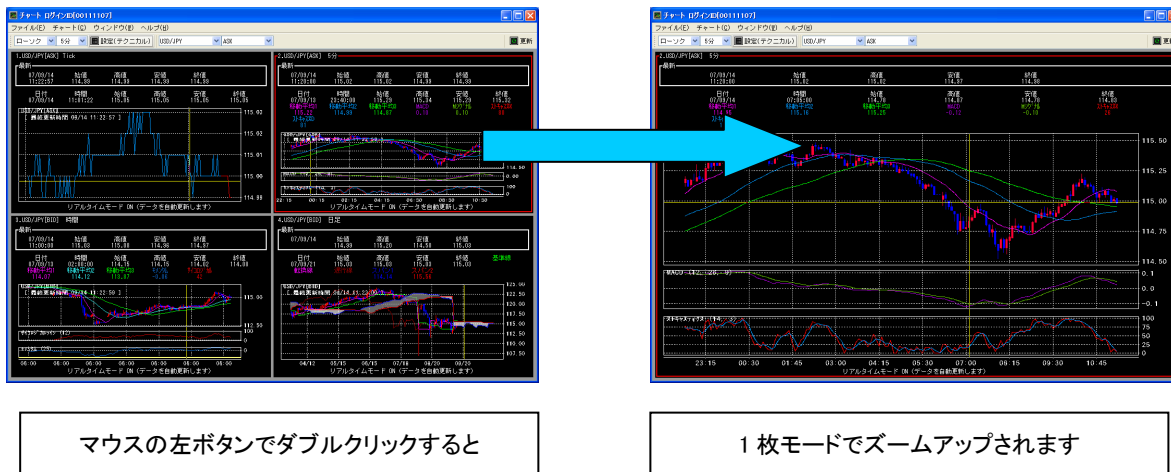
現在選択されているウィンドウは赤い枠線で囲まれます。チャートの変更等をした場合には、変更したいウィンドウを選択状態にしてください。



④ウィンドウのズームアップ

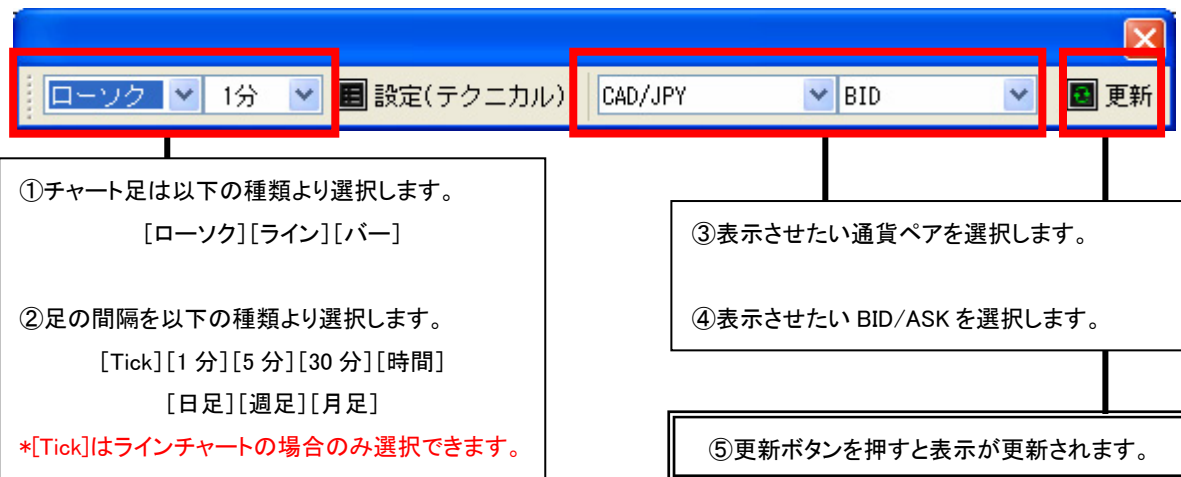
ウィンドウモードが2枚または4枚の場合、チャートウィンドウをマウスの左ボタンでダブルクリックすると1枚モードにズームアップされます。

\*再度ダブルクリックをすると元のウィンドウモードに戻ります。



(2)チャートの基本的な操作 ~ ツールバー ~

ツールバーからのチャート操作をご説明します。



(3)チャートの基本的な操作 ～ メニューバー/右クリックメニュー ～

チャートの操作は、メニューバーやチャート上で右クリックした時に表示される右クリックメニューからでも操作することができます。

各メニュー項目についての詳細は以下の通りです。

① CSVとして保存

現在選択されているチャートウィンドウのデータを CSV データとして出力、保存することができます。  
[CSV として保存]をクリックして、ファイル名を入力して保存してください。

② 画像として保存

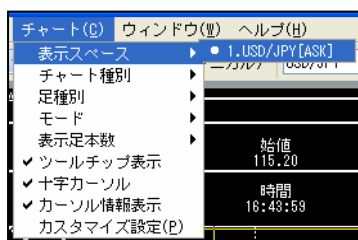
現在選択されているチャートウィンドウを画像として保存することができます。[画像として保存]をクリックして、ファイル名を入力して保存してください。

③ 印刷

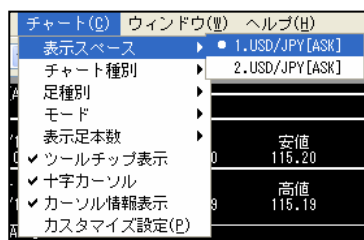
現在選択されているチャートウィンドウを直接印刷することができます。[印刷]をクリックして印刷を実行してください。

④ 表示スペース(メニューバーのみ)

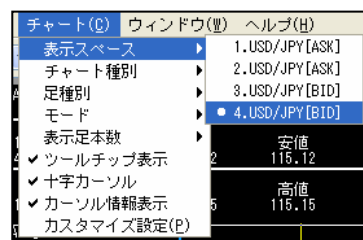
ウィンドウモードで現在選択されているウィンドウを変更することができます。1枚ウィンドウで使用している場合には、1つしか表示されません。2枚、4枚ウィンドウで使用している場合には、枚数分の項目が表示されます。



1枚モード



2枚モード



4枚モード

⑤ 表示本数

チャート上に表示されているデータの本数を選択することができます。  
[50本][100本][150本][200本]から選択します。なお、任意に本数を設定したい場合には、カスタマイズ設定ウィンドウ[基本設定]タブより設定をすることができます。(25～200の間で設定可能)

⑥ チャート種別、足種別、モード

右クリックメニューからチャート種別、足種別、モードを変更することができます。ツールバーから実行するのと同じです。

⑦ ツールチップ表示

チャートウィンドウのチャート(ライン、ローソク、バー)にマウスカーソルを重ねた時に4本値を表示させることができます。初期設定では表示状態になっています。表示させたくない場合には[ツールチップ表示]をクリックしてチェックをはずしてください。



⑧ 十字カーソル、カーソル情報表示

チャートウィンドウにX軸、Y軸の線を表示します。また、マウスカーソル上のデータ情報をチャート上部に表示します。初期設定では表示状態となっています。十字カーソル、カーソル情報を表示させたくない場合には、[十字カーソル]、[カーソル情報表示]をクリックしてチェックをはずしてください。



⑨ カスタマイズ設定

各種共通設定や、インジケータの表示、カスタマイズ保存機能をまとめたウィンドウを表示します。詳細は各項目を参照してください。

⑩ フィボナッチ(右クリックのみ)

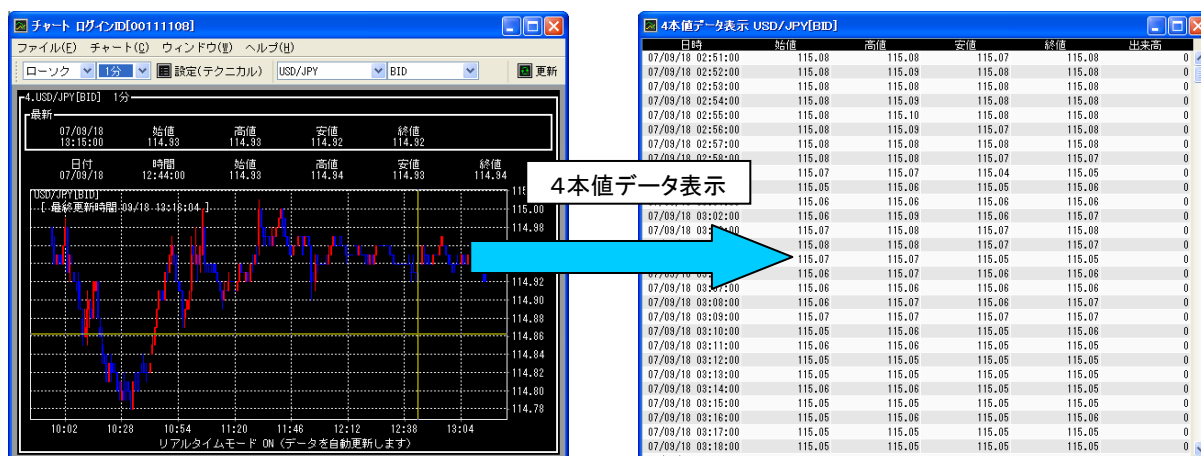
テクニカル分析としてチャート上にフィボナッチを自動で描画することができます。操作方法は「(3)インジケータの表示・変更 **【2. フィボナッチの操作方法】**」を参照してください。

⑪ トレンドライン描画、取消、クリア(右クリックのみ)

テクニカル分析としてチャート上にトレンドラインを描画することができます。操作方法は「(3)インジケータの表示・変更 **【3. トレンドラインの操作方法】**」を参照してください。

⑫ 4本値データ表示(右クリックのみ)

チャートを構成している4本値データを表形式で表示させることができます。表示件数は600本です。4本値データを表示させるためには、右クリックから「4本値データ表示」をクリックしてください。



(3) インジケータの表示・変更

チャートにインジケータを表示し、テクニカル分析を行うことができます。各種パラメータ値の変更、インジケータのカラー設定もできます。また、フィボナッチやトレンドラインをチャート上に描画することができます。

【1. インジケータの表示・変更方法】

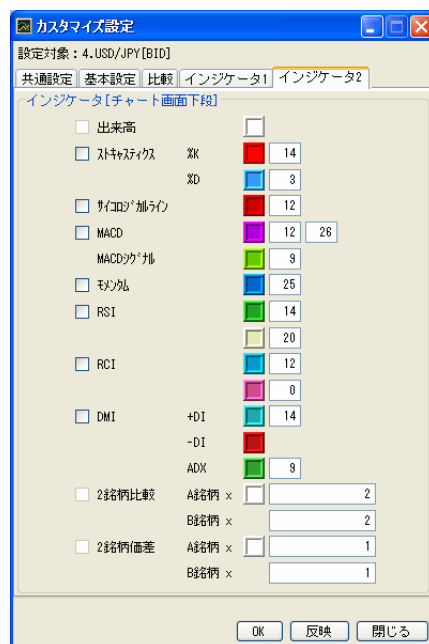
- ① インジケータを表示したいウィンドウをクリックして、ウィンドウを選択状態にします。



- ② ツールバーまたは右クリックメニューの [設定(テクニカル)] をクリックします。



- ③ カスタマイズ設定画面が表示されます。[インジケータ1][インジケータ2] タブをクリックして、表示させたいインジケータを選択してください。各種パラメータやカラーを変更する場合もここで設定します。



- ・<インジケータ1>のグループは、一度に全てのインジケータを表示することが可能です。
- ・<インジケータ2>のグループは、最大3つまで同時に表示することが可能です。

【2. フィボナッチの操作方法】

チャートシステムでは、任意の価格幅でフィボナッチを自動描画することができます。ここでは、フィボナッチの操作方法についてご説明いたします。なお、足種別が Tick の場合は利用できません。

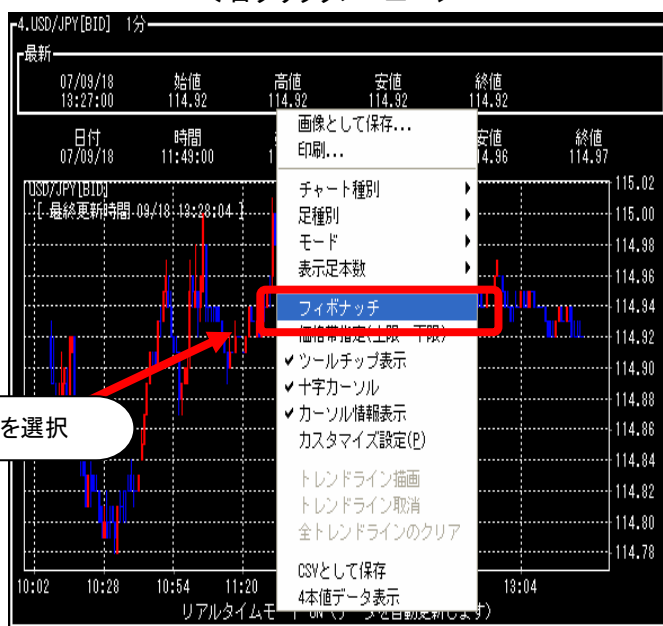
＜フィボナッチ操作方法＞

①カスタマイズ設定ウィンドウより＜インジケータ1＞の[フィボナッチ]をチェックするか、または右クリックメニューから[フィボナッチ]をクリックして下さい。

＜カスタマイズ設定ウィンドウ＞



＜右クリックメニュー＞



②価格幅の始点と上限(下限)をそれぞれクリックします。自動でフィボナッチが表示されます。



\*描画をやり直すには、もう一度始点、上限(下限)の指定となる位置をクリックしてください。

### 【3. トレンドラインの操作方法】

チャートシステムでは、自由にチャート上にトレンドラインを描画することができます。ここでは、トレンドラインの操作方法についてご説明します。

#### 【ご注意】

\*トレンドラインはタイムフィードがヒストリカルモードでのみ利用可能です。また、足種別がTickの場合にはリアルタイム・ヒストリカルモードともに利用できません。

#### <トレンドライン操作方法>

##### ① トレンドラインの描画

トレンドラインを描画するには、始点となるポイントにマウスカーソルを合わせ、左クリックを押した状態(ドラッグ)のまま、描きたい方向にマウスを移動させます。左クリックをはなしたポイントでトレンドラインが描画されます。



##### ② トレンドラインの取消

[トレンドラインの取消]を選択すると、直前に描画したトレンドラインを消去します。さらに[トレンドラインの取消]を選択すると、さらに一つ前に描画したトレンドラインを消去します。

##### ③ 全トレンドラインのクリア

[全トレンドラインのクリア]を選択すると、描画した全てのトレンドラインを消去します。一括して消去したい場合などに使用します。

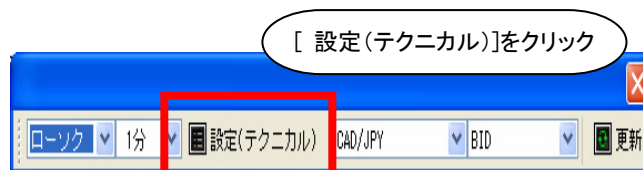
## 6. カスタマイズ設定

### (1) カスタマイズ設定の保存・読込

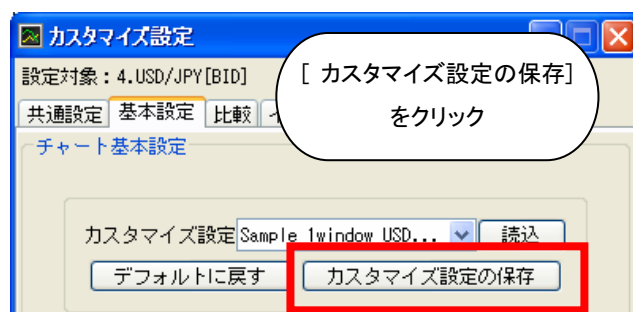
チャートシステムでは、自由に変更したチャート設定内容を保存することができます。また、保存した設定をいつでも呼び出すことができ、“いつもの”チャート画面が瞬時に再現できます。

＜カスタマイズ設定の保存・上書・削除＞

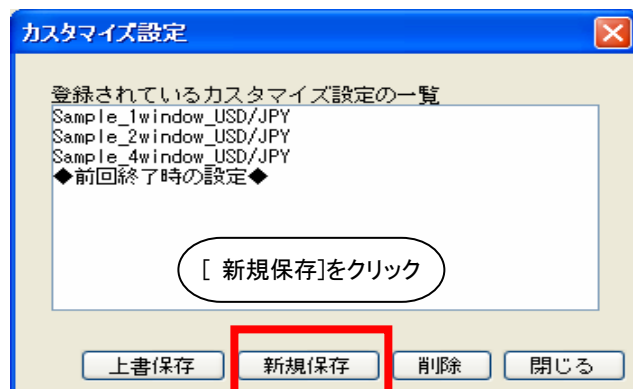
ツールバーまたは右クリックメニューから [カスタマイズ設定] をクリックします。



[基本設定] タブ → [カスタマイズ設定の保存] をクリックします。

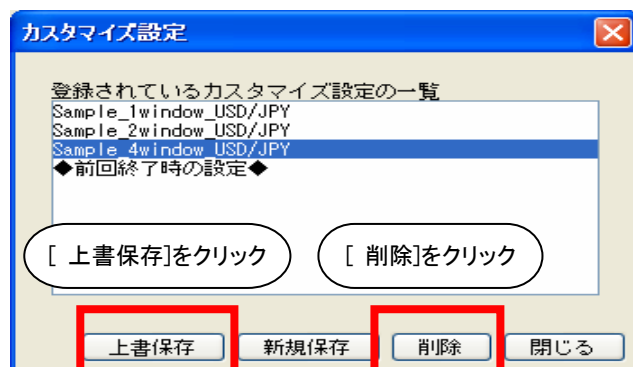


“登録されているカスタマイズ設定の一覧”には、今までに保存した設定が表示されています。  
新規に保存する場合には [新規保存] をクリックして下さい。



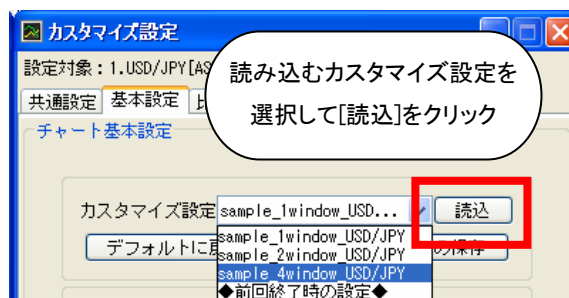
保存している設定を上書きする場合には、上書きする設定を選択してから [上書保存] をクリックして下さい。保存した設定を削除する場合には、削除する設定を選択してから [削除] をクリックして下さい。

**\*初期設定で登録されているサンプルは上書き・削除はできません。**



<カスタマイズ設定の読込>

保存したカスタマイズ設定を読み込むには、読み込みたいカスタマイズ設定名を選択した状態で、[読込]ボタンをクリックしてください。

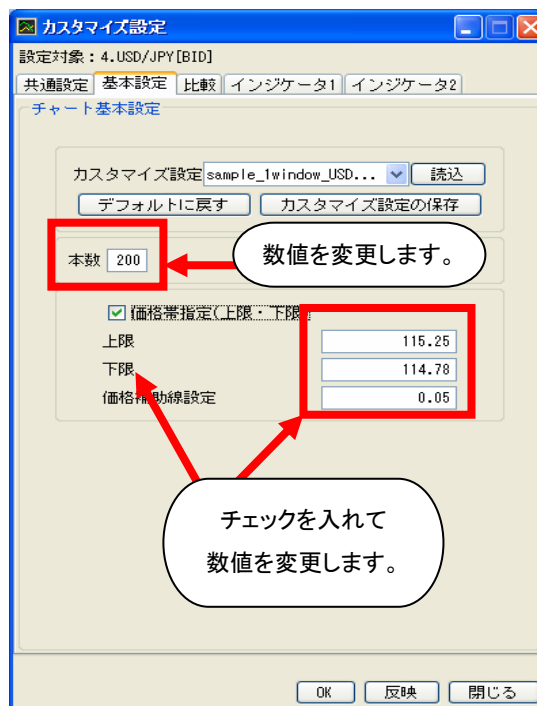


(2) 表示本数の変更・価格帯指定

チャート上に表示されるデータ本数や、チャートグラフの価格帯を任意に変更することができます。

データ本数や、価格帯を変更するには、カスタマイズウィンドウを開き、[基本設定]タブからそれぞれ変更をしてください。なお、データ表示本数は指定可能範囲内で指定してください。

指定可能範囲: 50 ~ 200



取引所為替証拠金取引は元本や利益が保証されたものではありません。取引所為替証拠金取引は、証拠金による取引であるため、証拠金額より大きな金額の取引を行うこととなります。そのため為替相場の変動により預託証拠金額以上の損失が生じることがあります。また、売値と買値には一定の価格差(スプレッド)が存在します。また、取引を行っている通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少する可能性、支払額が増加する可能性があります。さらにポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合は、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払が発生する場合があります。お取引に際しましては、その仕組み、リスクについて取引説明書等の内容をご確認いただき十分なご理解のうえ、ご検討ください。

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2425 号 加入協会 社団法人金融先物取引業協会 日本証券業協会